

美川っ子

R5.6.21 文責 川神 幸

浜田市小学校陸上競技大会

5月に行われた小体連陸上大会。約1ヶ月取り組んだ陸上練習の成果が発揮され全員が自分の記録を残すことができました。残念ながら私は松江への出張が重なり競技場での応援はできませんでしたが、翌日数名の児童に感想を聞くと「自己ベストが出ました。」「暑かったけどがんばりました。」等、うれしい報告を聞くことができました。体育主任の山崎からも「やって終わりではなく、苦しい練習を通して培った力を今後の学校生活で発揮してほしい。」という言葉聞いています。きっと美川っ子は言葉通りの姿を見せてくれることでしょう。

「美川小の応援がよかった。」という声も聞きました。練習中もがんばる仲間をしっかりと声援していました。きっと、当日も精一杯声を出して仲間を支えたのだらうと思いました。



★陸上競技大会入賞者★

- 全学年男子 ジャバリックボール投げ
松下 明星 (1位) 45m12
- 全学年女子 走り幅跳び
森本ありさ (3位) 3m33

自分との闘い

マラソン記録会

6月5日(月)第1回マラソン記録会を行いました。暑くもなく寒くもなく、風もほとんどない良い天候に恵まれ、参加した児童それぞれが自分の記録や目標達成のため、力を振り絞ってがんばりました。全校が応援する中、1年生からスタートし、2年生、中学年(男子→女子)高学年(女子→男子)の順に行いました。

印象的だったのは「おわりの会」でのこと。保健体育委員から感想発表を求められると、ほぼ全員が挙手しました。それだけ達成感や充実感を感じていたのではないかと思います。時間の関係で各学年から1名ずつの発表で終わりましたが、かなうものなら全員に感想を聞きたかったほどです。



宿泊研修に行きました(5年生)

6月19日(月)・20日(火)の晴天に恵まれた2日間。5年生9名が全員そろって宿泊研修を行いました。宿泊研修のめあて「友情」「協力」「自主」「基本的な生活」を常に意識しながら行動し、有意義な研修になったようです。

5年生は研修本番に向けて、早い段階から計画的に準備を進めました。人数の少なさをプラスに生かして準備をしていました。



- やっぱり家が落ち着きます。楽しかったし、つかれました。楽しいが、つかれたより多い感じです。自分からきまりを守り協力しあって楽しむことができました。
- 2日目でみんなつかれが出ると思うけど、やぐらの解体で、素早く行動して早く終わったのですごかったです。前の日よりも協力の力がついたのだと思いました。
- みんな今までできなかったことができるようになっていたと思いました。いつも以上に協力できた2日間でした。
- やぐらの解体では、昨日のやぐらを解体する時、なんだかさみしい気持ちになりました。でも、きれいに片づけることができたのでよかったと思います。

《児童の感想より ~一部抜粋~》

ICTを活用した授業改善研究指定校

昨年度からICTを活用した様々な取組を行ってきました。その結果、教師側も児童側もある程度端末の使い方に慣れ、授業の中や学校生活の多様な場面で効果的な活用ができるようになりました。

2年目にあたる今年度は、さらにスキルアップし、ICTの強みを生かした授業改善を行っていこうと考えています。先日、松江から講師をお招きして職員研修を行いました。テーマは「クラウドの強みを生かした授業改善」～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて～です。楽しくわかりやすい授業にするためにICTをうまく取り入れようという考えです。これからの時代はICTとうまく付き合うことが必須です。苦手意識のある教職員も「できません。」というわけにはいきません。必要な場面で、効果的に「使いこなす」ことができるよう、我々も子どもたち同様に、日々勉強(修行)しています。



「不易流行」変わらず大切にすること、新しいものを取り入れること、どちらも大切にしたいと考えています。

科学実験教室（4年生）

「紫外線をつかまえろ！」弥栄小との合同学習

6月9日（金）美川小の4年生と弥栄小の3・4年生合同で科学教室を行いました。講師は広島にお住いのサイエンスインストラクターの山縣圭子先生。なんと先生は「あの」でんじろう先生のお弟子さんを長くしておられるそうです。

遠く広島から来ていただきたくさんの準備物をもってきてくださいました。

学習内容は「紫外線」。今の時代、避けては通れない大きな問題ですね。紫外線のメカニズムや特性を利用して「忍者えのぐ」という特殊な絵の具で描いた絵や、それを練りこんだスライムを太陽光にさらすと…あら不思議。あっという間に色がつくのです。子どもたちは科学の不思議に触れ、大いに楽しみました。

弥栄小学校のお友達とも自然な関わりができ、大満足の1日となりました。



授業後には弥栄小とのお手紙のやり取りもありました。

第1回 学校評議委員会

今年度は初めての試みとして、授業公開日に学校評議員会を計画してみました。学校評議員の皆様からは「授業を見て回りやすい」と好評でした。

後半の協議では、今年度の学校運営について説明させていただいたり、子どもたちの様子について協議したりしました。うれしい感想としては、授業を観られて感じたこととして…。

○子どもたちが明るい。先生と楽しそうに授業をしている。

7月の主な行事

- 4日（火）～7日（金） 下校時刻 14:10（低学年）
- 5日（水）SC 来校日 15:00（中・高学年）
- 6日（木）外国語（支援員）
- 10日（月）浜田市総合教育会議
（久保田市長に4年生の授業をみていただきます。）
- 11日（火）西部ブロック合同学習（たんぼぼ：三隅小）
- 13日（木）第2回PTA運営委員会 外国語（ALT）
- 14日（金）全校テスト（国） 委員会⑥
- 18日（火）校外班会 大掃除
- 19日（水）防犯教室⑤（1・2年生）
- 20日（木）終業式 給食終了 下校13:30
- 25日（火）のびっこ学習（AM 4～6年生希望者）
個人懇談（PM） ラブック号
- 26日（水）のびっこ学習（AM 4～6年生希望者）
個人懇談（PM）

○大人がたくさんいても、前を向いて集中している。

○先生との関係ができています。よく発表している。

子どもたちの事をほめていただくのは我々教職員にとって、何よりうれしいことです。早速、職員に伝え一緒に喜びました。同時に課題として挙げられたことについても伝え、今後検討していくことを確認しました。課題として1つ挙げるとすれば「校外での挨拶」です。



校内ではできる挨拶。学校に来られたお客さんに対しても挨拶できるので感心します。それが、地域ではなかなかできないのはなぜでしょう。様々な要因があるとは思いますが、一つ考えられることとして「地域の方との関わりが（コロナ禍で）減った」ことがあるのではないかと話になりました。今年度は「開かれた学校」を重点目標に掲げています。地域の方に来ていただける取組を増やすように検討していこうと考えています。

のびっ子タイム（基礎学力）

落ち着いた学校生活が送られている美川小の状況で、次に目指したいのは「学力向上」です。年度初めの教職員によるミーティング会議で、美川小の子どもたちに今十分に力が発揮できている面と、まだこれから力を発揮できる点があることを話し合いました。そのひとつとして挙げられたのが「基礎学力」の向上です。

そこで、今年度は朝学習（のびっ子タイム）の内容を見直して、自分のペースに合わせた取組をすることにしました。「自分のつまづきを自分で見つける」「自信をもってできるところまで学年を超えて遡ってできるようにする」という取組です。具体的に言えば、算数の場合、各学年で学習する内容のうち、主に

四則計算を課題にします。例えば、3年生の児童なら自分が自信をもって取り組めるあたりの2年生の復習からスタートします。何度か同じ課題を繰り返し行い、完全にできるようになって次に進むという具合です。学校での学習は、以前は履修型といわれるもので、語弊を恐れず言えば「わかっていなくても次の学年に進む」ということもありました。でも、それでは積み上がりません。そこで目指すのは「習得型」の、できてから次に進むという考えです。継続して取り組むことには大きなメリットがあります。その時にはわからなくても繰り返すうちに少しずつわかってくることもあります。まずは、週に2回、国語と算数で行います。取組状況については、またの機会にお知らせします。

